

自治 温故創新

考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 2月号

令和5年2月28日
西東京市立田無第三中学校

逃げる月を追い越して、先へ

校長 東山 信彦

2月は逃げる月とはいいますが、2年生の校外学習で始まった2月も、もう月末となります。

その間に3年生の長期にわたる進路への取り組みが大詰めを迎えましたし、昨日・本日と各学年の1年間の学びを振り返る学年末考査も行われました。3月に目を転じれば、今週末の3月4日には、文化発表会が行われます。今年度の学びの成果物が並ぶ各教室の作品展示に加え（3日16:00~19:00には保護者対象に公開します《別案内参照》）、今年度は3年ぶりの舞台発表の準備も着々と進められています。逃げる月の足早さに負けぬよう、あわただしくも、着実に今年度の総括が進んでいます。

2学期末に、保護者・生徒アンケートを実施しましたが、その総括も行っています。詳しいデータは、裏面および本校HPをご参照いただくとして、その概要を報告します。

生徒アンケートにおいて、学校生活について16の質問項目がありましたが、そのうちの7項目について90%以上の肯定的評価がありました。さらに、80%以上を加えると12項目となります。特に、「よりよい学校生活を築くために、三中の生徒会や委員会が活発に取り組んでいる。」（89%）や「三中の学校行事は盛んで、私は積極的に取り組んで達成感を感じている」（90%）が、一学期末の同アンケートや、昨年度同時期のアンケートと比較して、大幅にポイントが上昇しており、「活気溢れる学校」づくりが着実に進められていることがうかがわれます。また、「私には道徳や教科の授業を通して、自分や他人を大切に作る心が育ってきている。」（91%）から「温かな学校」づくりについては、昨年度比較での数値は同じでしたが、今年度1学期比較では大幅にアップしており、新クラス、新学年での「温かさ」づくりは進められたのではないかと考えられます。

保護者アンケートでは、16項目中5項目で90%以上、80%以上では12項目が、肯定的評価でした。細かな数値の違いはあるものの、生徒アンケートとほぼ同じ傾向となりました。その中で、「三中では教え方や教材が工夫されていて、わかりやすい授業が行われている」（83%）が、昨年より大きく数値を伸ばしていました。西東京市研究指定校としての授業改善や、GIGAスクール構想の前倒しによるICT教育に取り組んだことを評価していただいたと拝察します。

一方、保護者・生徒アンケートともに、評価が低かったのが、「本に親しむ習慣がある」（生徒63%保護者48%）「予習や復習など家庭学習ができていない」（生徒指導50%保護者39%）「月曜日から金曜日までの家庭での学習時間」（生徒50%保護者45%）です。しかも、数値の低さに加え、全て昨年度の数値よりマイナスになっており、事態はより深刻であると考えます。

そこで、来年度は、市教育委員会より「読書活動の充実」についての研究指定をうけ、全学年で「読書活動」に取り組むことにしました。そして、それを足掛かりに、「学習の充実」につなげていきたいです。

令和4年度は開校60周年の節目の年として、「温故創新」のスローガンを掲げ、伝統を受け継ぎながらも、新しい取組にも挑戦し、日々前進してきました。上記保護者・生徒アンケートの内容は、その中での成果であり、課題でもあります。成果については、三中伝統の姿に組み入れていくとともに、課題については、アンケートの解説に終わることなく、今日からまた、新しい三中として前に進むことで、生徒・保護者・教職員心を合わせての、取り組みを進めていきます。

引き続き、「温かく・活気溢れる三中」を、よろしくお願ひします。

詳しいデータは、本校HPをご覧ください。

○最近のできごと 1月31日 3年生 総合の学習の時間 卒業までに頑張りたいこと



3年間の中学校生活を振り返り、有終の美を飾るべく、大切にしたいことや卒業への思いを「卒業までに頑張りたいこと」というタイトルで書き、クラスの皆の前で発表しました。



2月4日 2年生 校外学習(都内巡り)
大きな事故もなく、班で協力して一日行動することができました。
来年度の修学旅行につながる校外学習、大成功です。

2月10日 雪かきボランティア

寒い中多くの生徒が雪かきをして皆が通る道を確保しました。



2月20日 1年生

総合の学習の時間 職業調べ



タブレットや図書室の本を使い、担当した職業について調べ、スライドにまとめました。各自スライドを工夫して作り、効果的に発表することができました。